

M3T-NC308WA および M3T-NC30WA ご使用上のお願い -- if文の制御式中にある配列要素の評価について --

Cコンパイラパッケージ M3T-NC308WAおよびM3T-NC30WA の使用上の注意事項を連絡します。

- if文の制御式中にある配列要素の評価に関する注意事項

1. 該当製品

M32C/90, M32C/80シリーズ, M16C/80 およびM16C/70シリーズ用:
M3T-NC308WA V.3.10 Release 1 ~ V.5.10 Release 1

M16C/60, M16C/30, M16C/Tiny, M16C/20, M16C/10, およびR8C/Tinyシリーズ用:
M3T-NC30WA V.5.00 Release 1 および V.5.10 Release 1

2. 内容

If文の制御式の中に、配列の要素と定数との等不等の評価式が複数ある場合、不正なコードを生成します。

3. 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) if文の制御式中に配列の要素と定数を比較する条件式が複数ある。
- (2) (1)の条件式は "==" または "!=" で比較している。
- (3) (1)の配列はunsigned char型、またはsigned char型である。
- (4) (1)の配列の要素に対する添え字は連続している。
- (5) (1)の条件式はすべてOR演算子で結合されている。
- (6) コンパイルオプション-O4または-O5を指定している。または-O1、-O2、-O3、-OR、および-OSのいずれかひとつ以上の指定に加えて-Ocompare_byte_to_word (-OCBTW) を指定している。

発生例

```
-----  
int i;  
char  c[10];          /* 発生条件(3)および(4) */  
  
void  func(void)  
{  
    if( c[0] == 0x1 || c[1] == 0x0 ) /* 発生条件(1),(2)および(5) */  
        i = 1;  
    else  
        i = 0;  
}
```

4. 回避策

以下の方法で回避してください。

- (1) コンパイルオプション-O4または-O5を指定している場合は、OR演算子で結合している条件式を分割してください。

例

```
-----  
-----  
int i;  
char  c[10];  
  
void  func(void)  
{  
    if( c[0] == 0x1 )  
        i = 1;  
    else if( c[1] == 0x0 )  
        i = 1;  
    else  
        i = 0;  
}
```


- (2) -O1、-O2、-O3、-OR、および-OSのうちひとつ以上の指定に加えて-OCBTWを指定している場合は、-OCBTWを指定しないでください。

5. 恒久対策

M3T-NC308WA V.5.20 Release 1およびM3T-NC30WA V.5.20 Release 1以降では発生しません。

M3T-NC308WAおよびM3T-NC30WAはこちらからオンラインバージョンアップできます。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.